

ガールスカウト活動の安全等 チェックリスト（2025年）



キャンプや野外での活動全般、宿泊を伴う活動や旅行をおこなう際には、下記の事項に留意してください。

★**緑の文字**は、日本連盟 HP（要ユーザー登録）へのリンクです。クリックしてください



1. すべてのリーダー、団委員、プログラム関係者は、まずこれを確認

原則：

- 『**子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン**』（2025年1月版）を読み、参加者が「安全」かつ「安心」して参加するためにその行事等でどんなことに留意する必要があるのか1項目ずつ確認する。
 - 特に「相手（子どもも大人も）を尊重した態度、言動を心がける」ことを関係者が相互に確認する。
- 『**ガールスカウト活動の安全**』を読み返し、この行事やキャンプで関係する箇所を確認する。また、P.16の引率人数（複数）を基に子どもの安全を十分に守れる人員体制をつくり、役割分担を明確にする。
 - 特に、P.56「**緊急時の対応**」のフローチャートについて、指導者（リーダーと運営者）全員でそれぞれの事項の担当者と連絡系統を確認し、保護者を含めた当日の連絡順序、手段を共有しておく。
- 活動計画の段階で、安全に関する確認を指導者間でするとともに、少女自身も健康で安全に活動できる意識を持てるよう指導する。（参考：指導者用**ウェブ資料『安全で楽しいキャンプのために』**）

災害・事故・事件・トラブル時：

- 有事にはまず、子どもの安全と、指導者自身の安全を確保する。子どもを単独で行動させない。
- 「**緊急時の対応**」フローチャートを基本とし、その場の状況に応じて対応する。引率の成人だけで対処できないときは、周囲の大人や高校生年代等の人（安全を考慮）の協力も得て応急処置や通報をする。
- 初動が落ち着き、自らの安全も確保できたら、できるだけ早めに記録をとっておく（5W1Hのメモをとる：サンプルは『ガールスカウト活動の安全』 P.71）
- 安全確保、応急処置と通報後、可能なら保護者に状況と予定を説明する。（誠意ある対応が肝要）
- 事故等の有事のマスコミ対応については、団→都道府県連盟→日本連盟へ速やかに相談する。

2. キャンプなど、野外での活動、宿泊を伴う活動の安全対策



事前の準備：

- 『**安全ガイドブック**』や**ウェブ資料『安全で楽しいキャンプのために』**を企画時に再読みし対策を確認する。
- 楽しく充実した活動をおこなうために必要な「安全」とはどういうことかを考えたうえで、このたび使用する場所や時期、参加者、プログラム内容における「リスク」と「ハザード」について整理する。（リスクの**人的要因**、**物的要因**、**環境要因**を考慮する。**野生動物の状況についても調査し、考慮、対策する**）
- 活動場所の下見は必須。地域のハザードマップや救急対応医療機関・休日当番医情報を入手。避難経路や救急時に受診する医療機関を決めておく。**発熱時等の迎え有無の対応**を保護者と共有する。
- 『**ガールスカウト活動の安全**』（2025年版）を再読みし、この行事やキャンプで関係する箇所とP.16記載の「引率者（必ず複数）の最小人数」を確認。プログラムごと、安全体制と役割分担を明確にする。
 - 特に、P.33「**水上でのプログラム**」をおこなう場合は、原則として専門家の指導のもと実施する。
- キャンプ等、宿泊を伴う活動については、年少の部門の参加者や初めて宿泊する参加者の保護者を対象とした事前説明会をおこなう。活動内容や持ち物に加え、活動の目的・趣旨や**野外でのリスクと安全管理体制**、緊急時の対応予定を説明して保護者の不安や疑問を解消し、理解を得られるようにする。
- 宿泊を伴う活動（少女会員が参加するキャンプ、旅行、キャンプ練習、1泊舎営等）実施の場合は、**「宿泊を伴うガールスカウト活動実施届」を1カ月前までに、「報告書」を実施後1カ月以内に**、都道府県連盟に提出する。（複数団や会員有志グループ主催の少女参加事業も同様に所属先へ提出）
- アレルギーや既往症は事前に提出してもらい、不明点を明らかにしたうえで必要な手配をおこなう。

直前・当日：

- ❑ 気象情報、**熱中症特別警戒アラート**、野生動物情報等を確認し、実施について【中止・変更を含む】予防的判断をおこなう。（中止の基準とプロセスは予め定め保護者に共有し、当日は複数人で決定）
- ❑ 事前下見の際に「当日も再確認」とした場所や、直前の天候の影響がありうる場所の現状を確認する。
- ❑ 直近、当日の検温を徹底し、「**健康カード**」（**2025年改訂書式**）は集合・回収後すぐに内容を確認し、不明点（アレルギー対象品目等）等を保護者に聞き、体調観察をおこなう。
- ❑ **健康保険証のコピー**（マイナンバーカードの持参・コピーが心配な場合「資格者情報のお知らせ」コピー）※は**個人情報**であるので封筒に入れる（受診時だけ開ける）**などして指導者が紛失なきよう厳重に管理し終了時に返却する。成人や年長部門の少女で貴重品の自己管理可能な場合は所在を聞いておく。**
※いずれもコピーでは保険診療でなく自費診療（全額）となる可能性が高いため、予備費を持参しておく。
- ❑ 衛生管理、食材管理に留意し、食中毒を防止する。マスク着用は任意だが感染症防止に留意する。
- ❑ 事業中も**熱中症特別警戒アラート**などをまめに確認し、熱中症や日射病の予防のため、通気、水分補給、適切な休息を取り入れ、参加者の体調に留意する。**体調異常の場合チェックシートを参考に処置。**
- ❑ 気象サイト（例）で大雨、雷、竜巻予想を確認しプログラム変更も視野に入れる。
- ❑ 指導者どうし、安全に関することや参加者の状況等の情報を共有し、連携して活動中の安全に細心の注意を払うとともに、実施にあたっては状況に応じ判断と対応ができるようにする。（天候や参加者の体調に応じ、短縮・変更・中止）
- ❑ 子どもの保護と安全のため、幼児・小学生・中学生の宿泊時は、**子どもと大人（家族以外）が、部屋やテントで2人だけ（1対1）にならない**よう考慮して部屋割りをする。
- ❑ 公共交通機関での移動や施設を利用する際は、「やくそくとおきて」を守り、マナーに配慮して行動する。
- ❑ リュックサックなどの大きな荷物が他の旅行者や展示・販売物、駐車中の車等に当たらないよう、また特にキャリーバッグは傾斜のある場所、階段、エスカレーターや列車内で動かないよう、細心の注意を払う。



負傷にも注意



3. 体験集会、イベントの留意事項（主に安全面）

- ❑ 悪天候時等の決行や中止の判断基準を事前に決め（例：7:00に警報など）チラシにも掲載する。会場や日時を変更する場合は、事前に告知した会場や日時にも案内係を配置するとよい。
- ❑ おやつや食事を提供する、または菓子作りや料理をするときは必ず、事前に保護者へ**アレルギーの有無を確認**（調理法や重度についての情報を含む）する。アレルギーのある子どもがいた場合は、食材変更などの対応をおこない、提供時も取り違えがないか、雰囲気につられて摂取していないかなど、注意を払う。
- ❑ 屋内外とも幼児（男児も）は1人でトイレに行かせない。外では名札をつけない。盗撮や不審者も注意。
- ❑ 会員外の子どもを参加者として宿泊イベントをおこなう場合は、特に慎重を期す。
 - ❑ 必ず事前に、保護者への説明会をおこない、また、参加者（子ども）の行動傾向、健康などを保護者から聞いておく（その子にとって理由のある行動が、指導者にとって予測できないこともある）。
 - ❑ 参加者に説明や指示をするときは常に、会員外の子どもが聞いて分かる言葉、表現を使う。行動予定など、安全に関わることを「会員の子どもはわかっているのだから」と説明を省略することは避ける。
 - ❑ 宿泊を伴うイベントや日帰りでも長時間の場合は、会員外の子どもについてイベント保険に加入する。



4. インターネット上での発信・活動について

- ❑ 活動報告や告知を**個人のアカウント**で発信するのは**NG**。**公式（団・県連盟）アカウント**から発信する。その際、個人アカウント**タグ付けはしない**（タグ付けは少女の写真の私的利用と同等）。公式 SNS 等で発信をおこなう際の注意事項全般は『**SNS ガイドライン（2021年版）**』参照。
- ❑ 写真や動画の撮影および掲載については、会員・保護者・会員外にかかわらず、承諾を得る。未成年の場合は保護者の承諾を得る。短時間の体験イベントの参加者にも、掲載予定があるなら口頭で説明し承諾を得る。（承諾を得ていない会員外の子どもの顔にスタンプ・モザイクをかけて掲載することも NG）
 - ❑ 撮影前と掲載前に、個人が特定できる要素（名前・呼び名、名札の文字等）がないか、キュロット内の下着や内腿が見えないかを確認する。三角座り（体育座り）や膝を閉じずにしゃがむのは NG。
- ❑ 他者（個人・企業等）の著作物（写真、動画、イラスト、文章、音楽等）や新聞紙面、紙面を写した写真、テレビ映像、テレビ画面を映した動画等を無断掲載しない。正規の許諾手続きをとる。
- ❑ 子どもの保護と安全のため、オンラインツール（Zoom、LINE 等）での活動時も、**子ども（幼児・小学生・中学生）と大人（外部を含む）が2人だけ（1対1）にならない**ようにする。やむを得ず1対1となる場合は、活動予定を団委員長等に事前共有しておく。（子どもと外部の方とのオンライン活動は必ず、団の大人が同席する）

